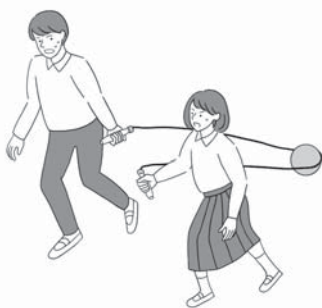
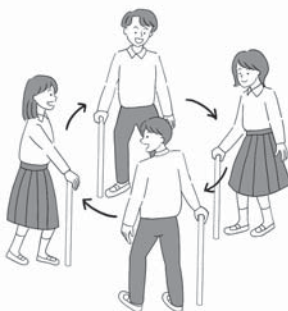
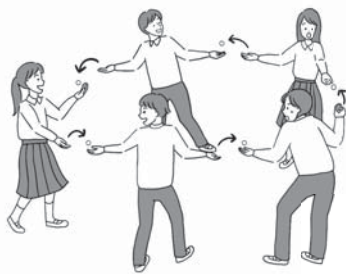


第1章

班对抗



100枚チャレンジ

■準備物（×班数分）

B 6 サイズ用紙（約200枚の束）→
用紙の束の両端をクリップで留めて、イ
ラストのように用紙が立つようにしてお
く、クリップ（2個）、直定規（1
本）



■方法

- ①各班に準備物を配ります。
- ②「今から『100枚チャレンジ』をし
ます。端から数えて100枚と思う位置に定規を差し込みます。紙に
触ってはいけません。制限時間は1分です。よーい、スタート！」
- ③100枚の位置を班で相談し、代表が紙の束に定規を差し込みます。
- ④（1分後）「今から全員で一緒に数えていきます」と言って、みん
なで「いーち、にー、さーん…」と数えていきます。

☆100枚に一番近い班の勝ちとなります。

■注意点など

- ・「残り5秒、4、3…」とカウントダウンして、残り時間を伝えま
しょう。
- ・数えるときは、90枚を超えたあたりから、数えるペースを遅くす
ると盛り上がります。

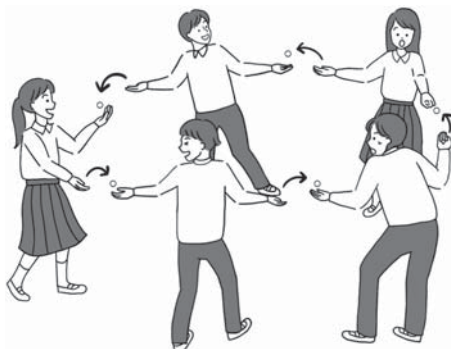
アット・ザ・セიმ・タイム・パス

■準備物（×全員分）

ピンポン玉（1個）

■方法

- ①両腕を広げて届くくらい離れて班員で輪になって立ち、中央を向いた状態で、1人1個ずつ右手にピンポン玉を持ちます。
- ②自分たちの合図（例えば、「いっせーのーでー、ハイ」など）で、自分の右隣の人にピンポン玉をパスします。
- ③②で左隣の人からパスされたピンポン玉を床に落とさず受け取ります。



☆1分間で、連続して成功した回数（班員全員が床にピンポン玉を落とさずパスを受け取った回数）の一番多い班の勝ちです。

■注意点など

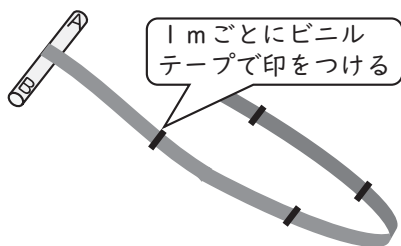
- ・作戦会議タイムをとって、班員同士がうまくいく方法（かけ声の仕方やタイミングなど）を話し合うと盛り上がります。
- ・「両手でパスする」「両手で受ける」もOKです。
- ・これを応用して、学級全員で輪になり、1回でも成功するかどうかをチャレンジさせるのも面白いでしょう。

くるくるチャンピオン シップ

■準備物（×班数分）

ラップ等の芯（長めのもの1本）→イラストのように、ビニルテープで1m間隔の印をつけた紐（6～7m）を取りつける。

ラップなどの芯



■方法

- ①各班に準備物を配ります。
 - ②1人が、Aを左手に、Bを右手にして芯を持ちます。
 - ③「よーい、スタート」の合図で、芯に紐を巻きつけていき、最初のビニルテープの印まで巻いたら、次の人に渡します。
 - ④次の人も、ビニルテープの次の印まで紐を巻きつけます。
 - ⑤同様に、順番に紐を芯に最後まで巻きつけていきます。
- ☆一番早く紐を全部巻きつけた班の勝ちです。

■注意点など

- ・紐が軽すぎて巻きつけにくい場合は、他の人が紐の端を軽く持ってあげてもいいでしょう。
- ・班数分準備するのが難しい場合は、教室の中央で班ごとに挑戦させ、タイムトライアル形式にしてもいいでしょう。